

校長室より

令和7年6月30日(月)

梅雨も明けていないのに、暑い日が続いています。大井高校では、6月の行事を終え、期末テストに向けて、頑張っているところです。

6月20日(金)、1時間目と2時間目に国際理解プログラムを行いました。

ジンバブエ大使をお迎えするということで、1時間目はジンバブエについての学習を行い、2時間目にジンバブエ大使をお迎えして、交流を行いました。

1時間目は、ボランティア部によるショナ語の学習から始めました。暑さが予想されたため、オンラインで行いました。ジンバブエは英語が公用語ですが、30ほどの現地の言葉があり、その中でも多数の人が使っているショナ語を練習して、大使をお迎えしようというボランティア部の提案により行いました。「おはようございます」は「マングワナニ」、「ありがとう」は「タテンダ」など、5つの言葉を練習しました。また、後半は開成町にお住いの水沼朋子さんに来ていただき、かつてJICAの活動で訪れたジンバブエのお話を伺いました。わかりやすいお話で、生徒たちも理解しやすかったようです。水沼さんには2時間目のプログラムにも参加していただきました。

2時間目は、ジンバブエ大使をお迎えしました。ジンバブエ大使がいらしてくださったのは、以前から活動に協力している認定NPO法人子どものための国際音楽交流協会(AIMEC)の岩井理事長のお力添えがあったからです。現在大井高校のボランティア部が管理している楽器を、今年はジンバブエに寄贈するということから、お話が決まりました。

吹奏楽部の演奏で入場された大使をショナ語のごあいさつでお迎えし、音楽選択者のお琴の演奏や校歌などを聞いていただきました。大使からは感謝状やジンバブエの帽子や布などをいただきました。また、在校生や教職員が一人ずつ折った千羽鶴や折り紙を差し上げることができました。最後には全員で記念撮影をし、実り多い国際理解プログラムを行うことができました。ご協力いただきました皆様に深く感謝いたします。



ジンバブエ国旗の色の着物でお出迎え



お琴の演奏



在日本ジンバブエ大使
 スチュアート・ニャキョチヨ様
 元在ポルトガル日本大使
 岡田真樹様（AIMEC 特別顧問）



みんなで記念撮影。

